

岩からできています。

このがけに見られる下盤のA1～A5層は新第三紀末の鮮新世の頃、湖の底につもった堆積物です。

また、上につもっているB層は、沖積世の段丘性堆積物です。

※ 鬼渡りのがけに行く途中、川原から対岸のがけで地層の重なり関係や、広がりが観察されます。

## 2、川原のようすと流水のはたらき

### (1) 調べる場所

一の戸川大田橋上流 300 m 地点

(2) がけの向かいの川が大きく曲がる川原に立って、川原の様子や水の流れを観察する。

① 川原から川の全景をスケッチする。

② 川原の様子、川原のふちやガケのけずられ方など、気づいたことを書き入れる。

③ 流れが大きく曲がっている場所で、川原のふちがけずられているのは、流れの曲がっている内側か、外側か。

④ 流れの大きく曲がっている内側は大きな川原になっていますが、他の流れが曲がっている場所でも調べる。

(3) 川に近づいて、流水のはたらきを調べる。

① ㉗の近くに立って、川原から対岸に進むにつれて深さはどう変わ

